

2025年5月期 第3四半期決算

株式会社ウェザーニューズ
2025年4月7日



2025年5月期 第3四半期決算の説明をさせていただきたい
と思います。

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2024年7月8日に公表いたしました2025年5月期通期連結業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値の修正 (2024年6月1日～2025年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	23,500	3,800	3,800	2,700	122.12
今回修正予想(B)	23,500	4,200	4,200	2,900	131.09
増減値(B-A)	0	400	400	200	
増減率[%]	0	10.5	10.5	7.4	
(参考) 前期実績 (2024年5月期)	22,242	3,270	3,341	2,437	110.42

(注) 当社は2024年11月30日を基準日(2024年12月1日を効力発生日)として普通株式1株につき2株の株式分割を行っており、連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については当該株式分割の影響を考慮しております。なお株式分割前基準では、今回修正予想(B)における1株当たり当期純利益は262.18円、前期実績における前期純利益は220.85円となります。

2. 修正の理由

売上高においては、全体としては前回予想どおりに進捗する見込みです。利益面においては、SaaS型プロダクト開発人財やセールス人財を強化する一方で、AI等を用いた運営モデルのシステム化の推進が当初想定より順調に進捗し、特にBtoB事業において運営品質維持に必要な人員数の増加が抑えられたことで利益率が改善しました。その結果、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みです。なお為替レートは1米ドル150円を前提としています。

(注) 本資料に記載しております予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は状況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。

以上

まず一つ目ですが、この決算発表と同時に公表した業績予想の修正のプレスリリースについてです。

通期売上高は期初計画235億円で据え置きですが、営業利益と経常利益は当初38億円だったところを42億円と約10%ほど上方修正させていただいています。そして純利益に関しても、27億円だったところを29億円と上方修正したことで、営業利益以下すべての利益に関して過去最高という形になっています。

AI等の活用による利益体質化の取組み

運營業務のシステム化で 3,000時間/月を削減

- 電話の自動応答と会話内容の要約
- 画像解析や報告書作成の自動化など



人員増加を抑えるだけでなく、
既存サービスの更なる価値創造への基盤を整備中

全社員参加型のAI活用ハッカソンを実施

- クローズドなAI環境を全社で整備
- 業務テーマを持ち寄りAIでの解決を目指す



社内でのAI活用が活発化し、
あらゆる部門における業務効率化が進捗中

営業利益率20%以上^(※)の実現

(※)中期経営計画(2024.5~2026.5)期間末の目標

利益の上方修正の理由ですが、AI等を使った効率化が進捗し、利益体質化が見えているということです。まずは運營業務のシステム化ですが、現時点で月に3000時間程度を削減しています。具体的には、電話での応答などこれまで人が行っていた業務について、AI等の力を活用しています。また、画像解析や報告書作成というようなところも、かなり自動化が進んでいます。

顧客が増えると必要人員も増加するという構造がこれまで継続していましたが、単に人員増を抑えるだけではなく、人が行っていた業務を、クオリティを落とさずにしっかりとAIとともに作っていきます。更にこの先は、人力では実現できなかったようなことをAIがどんどん価値創造していくという、我々のサービスが向上していく段階に入ると思います。一方で、今ウェザーニューズの社内ではAI活用のハッカソン行っています。クローズドなAIの環境を構築して、運営、経理、営業とあらゆる部門の社員がハッカソンに参加しています。これらの取り組みが最終的には、中期経営計画の20%以上の営業利益率に到達するキーになるのではと思っています。

1. 2025年5月期 第3四半期決算概要

- 実績サマリ
- Domain別売上
- Sea Domain、Internet Domainの詳細

2. 2025年5月期 通期業績予想

- 通期業績予想の修正
- Domain別 売上予想
- WxTech(ウェザーテック)の主要KPI進捗

3. 最近の主なトピックス

4. 配当方針

2025年5月期第3四半期の決算概要、2025年5月期の通期の業績予想、最近のトピックス、配当方針について説明します。

【売上】 17,428百万円(前年同期比4.6%増): Sea, Land Domainが売上成長を牽引

【営業利益】 3,137百万円(同37.1%増): AI等を用いた運営システム推進で利益率が向上。各段階利益は過去最高

単位:百万円	2024.5期 Q3 累計実績	2025.5期 Q3 累計実績	前年同期比
売上高	16,658	17,428	+4.6%
営業利益	2,287	3,137	+37.1%
営業利益率 (%)	13.7	18.0	+4.3Pt
経常利益	2,337	3,094	+32.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,749	2,155	+23.2%
EPS (円)	79.3	97.4	+18.1円
為替 (USD/JPY) (円)	146.1	152.4	+6.3円

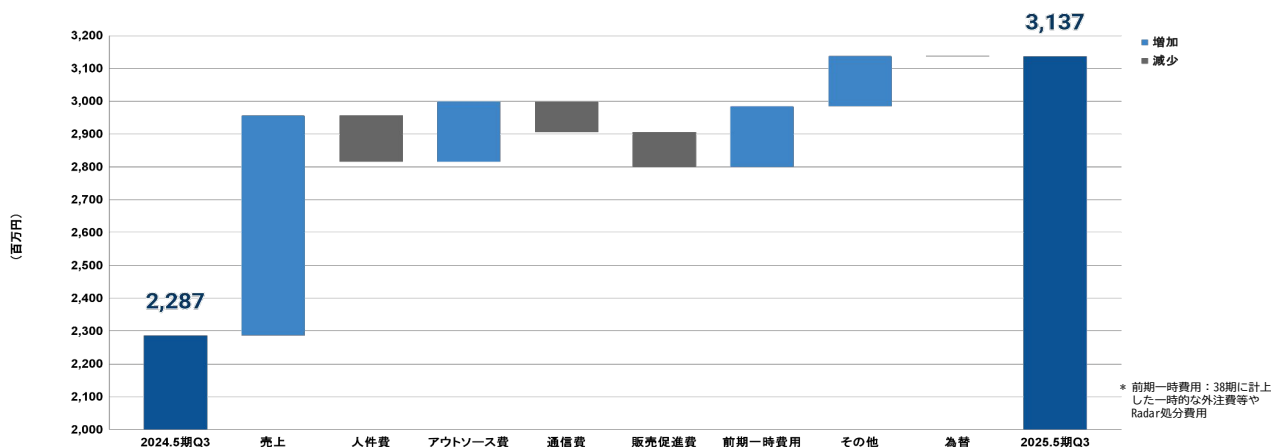
注)EPS:株式分割後の金額を記載しております。
(効力発生日:2024年12月1日)

第3四半期決算については増収増益になります。

主にSea、Land Domainが売上の成長を牽引しています。後ほど詳細は説明させていただきます。

営業利益に関しても前年同期比37%増という形で過去最高の営業利益を出しています。これは冒頭でご説明した、AIを用いた運営システムの推進が効いている形になります。

- 売上はストック型ビジネスで堅調に推移
- SaaS型プロダクト開発人財や海外営業人財の強化で人件費が増加。一方で運営人員は増加を抑制
- システム化による運営生産性の向上、及び前年同期に発生した一時費用の影響で利益増



続きまして、営業利益の増減をチャートで説明します。

基本的には売上が増加した分、しっかりと利益も増加していく形になっています。

事業拡大に伴う通信費の増加などありますが、人件費に関しては増加しているものの顧客が増えると運営が増えるという構造からは脱却していますので、従来より人員の増加を抑制できています。さらには、システム化によって、昨年比で運営アウトソース費も削減されています。

また、前期は一次費用がありました。今期に関してはそれがなかったことで、これも利益の押し上げ原因になっています。

最後に為替影響ですが、チャート上では少し見にくいですが、ほぼゼロとになっています。したがって現在のウェザーニューズは為替の影響は非常に受けにくい体質になっているということが、この第3四半期で見えてきました。

1. 2025年5月期 第3四半期決算概要 - Domain別売上

単位:百万円	2024.5期 Q3累計実績	2025.5期 Q3累計実績	前年同期比 (%)	事業状況
Sea Domain	4,308	4,656	+8.1	<ul style="list-style-type: none"> ・中東情勢に起因する物流混乱の継続や、米国の関税引き上げの影響で海運市況はやや軟化 ・当社においては欧州市場中心に大型顧客の単価増を伴う契約更新、為替影響も寄与し増収
Sky Domain	896	982	+9.6	<ul style="list-style-type: none"> ・エアライン市場において、国内外の旅客需要が好調に推移 ・当社においては、特にアジアのエアライン顧客向けの売上が寄与し増収
Land Domain	4,655	5,005	+7.5	<ul style="list-style-type: none"> ・極端気象発生時の拠点防災や輸送影響、安全確保の観点で気象情報のニーズが高まる ・高速道路市場の顧客数が増加。エネルギー市場や小売市場ではWxTechサービス(SaaS型プロダクト)の拡販で増収
Internet Domain	6,109	6,163	+0.9	<ul style="list-style-type: none"> ・広告投資効果もありサブスク売上や広告収入が共に増収 ・キャリア向け売上は低迷が継続し、全体で売上は横ばい
ストック売上 合計	15,970	16,807	+5.2	—
フロー売上	688	620	△9.8	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のストック売上につながる一時的な調査やシステム販売などの売上(売りにげに占める割合は小さいためコメントは割愛)
総計	16,658	17,428	+4.6	—

Domain別の売上に関して詳細を説明します。

Sea、Landを中心に大きく上がっています。

Seaに関しては、海運市場の動きはやや鈍化している部分もありますが、欧州を中心に大型顧客の単価増などもあり増収となっています。

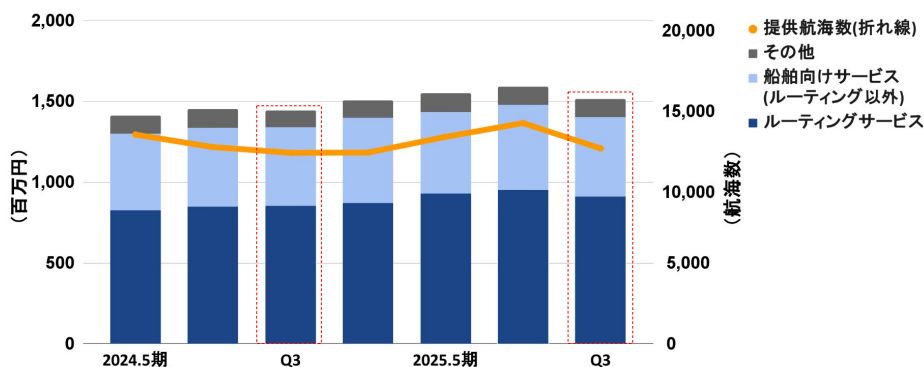
Landに関しても、高速道路、物流、電力顧客などを中心に徐々に上がっているところと、SaaS型のプロダクトである、ウェザーニュースfor businessなども順調に増えていることで売上を押し上げている形になっています。

一方でInternet Domainはそれほど伸びてないというところがありますが、これは後ほど説明します。

1. 2025年5月期 第3四半期決算概要 - Sea Domainの詳細①

【市況】 中東情勢に起因する物流混乱の継続や、米国の関税引き上げの影響で海運市況はやや軟化
 【業績】 提供航海数は前年同期比で増加。一部顧客の単価増を伴う契約更新や為替の影響で増収

売上高および提供航海数の四半期推移

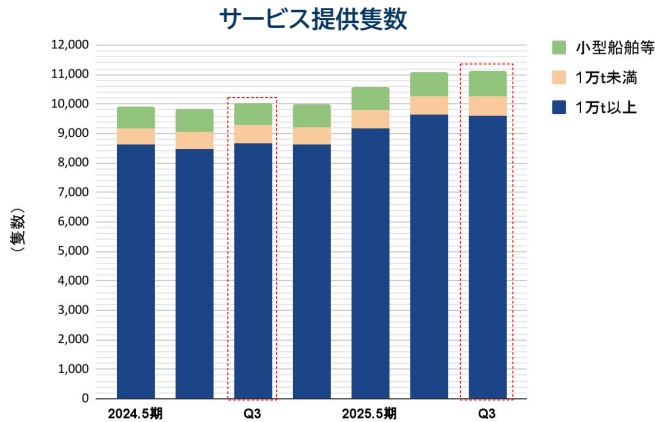


こちらはSea Domainの売上と、航海数の推移です。

先ほど申し上げた通り、海運状況はやや鈍化しているという状況ですが、当第2四半期については関税に関する駆け込み需要がありました。その反動で当第3四半期は航海数が少し下がっているものの、売上は順調に推移して増加しています。

1. 2025年5月期 第3四半期決算概要 - Sea Domainの詳細②

- サービス提供隻数は前年同期比で1万t以上の大型外航船を中心に増加
- ウェザーニュース for businessで内航船向けサービスを2025年3月より開始



当社サービスを利用している隻数
(複数サービス利用時も1隻カウント)



<https://jp.weathernews.com/news/51621/>

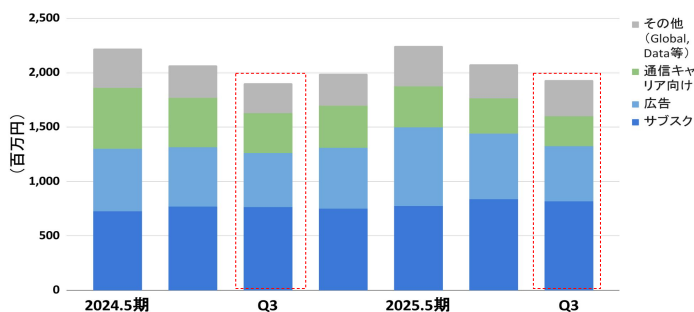
続いて、こちらはサービス提供隻数ですが、一万トン以上の船舶を中心にしっかりと増加しています。

また、ウェザーニュースfor businessで内航船向けのサービスを3月にリリースしています。我々が主にLand Domainで主に展開しているサービスをアプリやPCを通じて内航船向けに提供していくものです。中小型船も含めて、この後の伸びが期待できるマーケットになっていると思います。

1. 2025年5月期 第3四半期決算概要 - Internet Domainの詳細

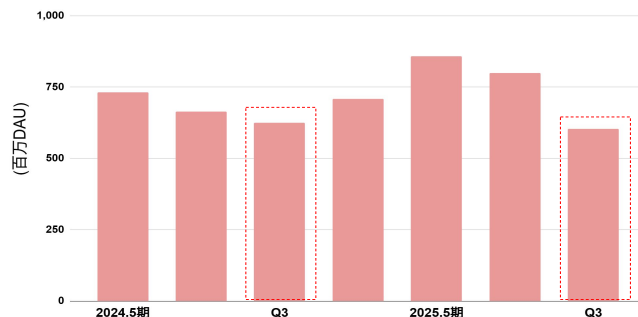
- 一部顧客のレバニューシェア比率低下により通信キャリア向け売上が減少
- 東日本太平洋側での安定した天候を背景にDAUは横ばい、サブスク売上は増収

売上高 四半期推移



注) 2025年5月期 Q1より売上高グラフの構成を細分化しました。従来サブスク売上に通信キャリア向けを含めていましたが、自社サブスクと通信キャリア向けを区分しました。また広告に含めていた一部の海外売上を「その他」に変更しました。

累積DAU 四半期推移



注1) 2025年5月期 Q1より、売上構成比の変化や自社コンテンツへのアクセスをより適切に表現するため、累積DAUの集計対象を一部変更しました。

注2) 2025年5月期初より、一部で計測方法を修正しました。

続いてInternet Domainに関してです。

左側グラフが売上、右側グラフが累積DAUのグラフになっています。売上については第3四半期で比べると緑の部分が減っているものの、全体の売り上げはほぼ横ばいという形になっています。

緑の部分は通信キャリア向けのビジネスで、すでに前期からそういった傾向はありましたが、売上が減ってきている状況です。濃い青のところはサブスクリプション売上です。こちらは順調に伸びています。薄い青のところは広告収入になりますが、こちらは右側のピンク色の累積DAUのグラフとも連動する部分があります。

前期の第3四半期と比べると、累積DAUもほぼ横ばいになっております。どうしても天候ともリンクしてくる部分があり、そこが伸び悩んだという形で、全体の売上に関しても前年同期比でほぼ横ばいになっています。

2. 2025年5月期 通期業績予想 - 通期業績予想の修正

【売上】 23,500百万円(前期比 5.7%増) ※期初計画から変化なし

【営業利益】 4,200百万円(前期比 28.4%増) ※期初計画の3,800百万円から上方修正

AI等を用いた運営モデルのシステム化が進み、利益率の向上が当初想定より順調に推移。各段階利益で過去最高益を目指す

単位:百万円	2024.5期 実績	2025.5期 計画 (前回)	2025.5期 計画 (今回)	前期比
売上高	22,242	23,500	23,500	+5.7%
営業利益	3,270	3,800	4,200	+28.4%
営業利益率 (%)	14.7	16.2	17.9	+3.2Pt
経常利益	3,341	3,800	4,200	+25.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,437	2,700	2,900	+19.0%
EPS (円)	110.4	122.1	131.1	+20.7円
ROE (%)	12.8	13.3	14.3	+1.5Pt
為替 (USD/JPY) (円)	147.9	150.0	150.0	+2.1円

注)EPS:株式分割後の金額を記載しております。

通期の業績予想です。

売上高に関しては235億ということで据え置きですが、先ほども申し上げた通り営業利益に関しては大幅に上方修正しており、各段階利益について過去最高を目指し順調に進んでいる状況です。

2. 2025年5月期 通期業績予想 - Domain別 売上予想

【売上】 23,500百万円(前期比 5.7%増) ※期初計画から変化なし

・Internet Domainにてキャリア向け売上の減収を見込むも、Sea Domainの欧州成長を背景に全社では変化なし

単位:百万円 Domain	2024.5期 実績	2025.5期 計画(前回)	2025.5期 計画(今回)	前期比
Sea	5,813	6,000	6,200	+6.7%
Sky	1,210	1,260	1,300	+7.4%
Land	6,301	6,740	6,750	+7.1%
Internet	8,082	8,700	8,250	+2.1%
ストック売上 合計	21,407	22,700	22,500	+5.1%
フロー売上	835	800	1,000	+19.8%
総計	22,242	23,500	23,500	+5.7%

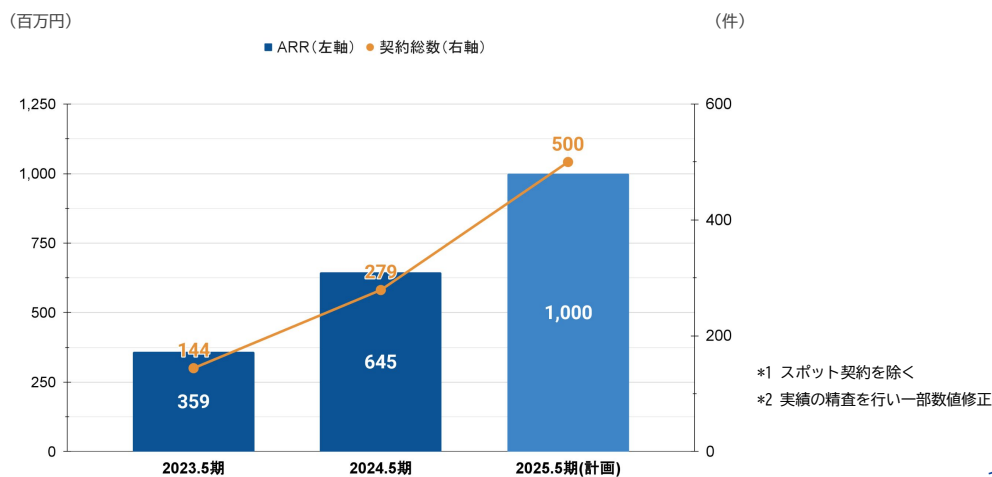
通期売上235億円の詳細です。総額自体は据え置きですが、内容が少々変更していますので、前回との差分をこちらに表現しています。

Internet Domainのところ、第3四半期の伸びが鈍化していたこともありますが、その分Sea、Landを中心に売上を上げており、Skyもしっかりと伸びています。

期初から申し上げている通り、全てのDomainにおいてしっかりと売上成長を実現し、また利益体質化することを目標にしており、そのため構造にここ1、2年でしっかりと体質変換していく、というところが現在の我々の目標です。

2. 2025年5月期 通期業績予想 - WxTech(ウェザーテック)の主要KPI進捗

- SaaS型プロダクトの充実と新たな顧客層へのリーチが進み、ARRは継続して増加
- 解約率は低位で推移しており、2025.5期にはARR1,000百万円、契約数500件を見込む



こちらはWxTechというSaaS型のプロダクトの主要KPIで、契約総数、ARRを示しています。

今期末に関しては「10億程度のARR、契約数500件」という当初の目標に対して、順調に進んでいます。WxTechの売上は主にLand Domainの売上に効いてきますが、今期もしっかりと徐々に効いてきているという状況です。

3. 最近の主なトピックス

日本初、桜のつぼみ写真から開花日を予測する『桜AI開花予想』をアプリで提供開始



<https://jp.weathernews.com/news/51331/>

「ウェザーニュース for business」にビジネスレポート機能を追加



<https://jp.weathernews.com/news/51420/>

EC事業向け気象データセットを提供開始



<https://jp.weathernews.com/news/51511/>

「ソラテナPro」が日本で初めて補完観測の予報業務利用の承認を取得



<https://jp.weathernews.com/news/50737/>

アプリにて生成AIによるアシスタント機能『お天気エージェント』を提供開始



<https://jp.weathernews.com/news/50857/>

「ESG活動報告書2024」を発行



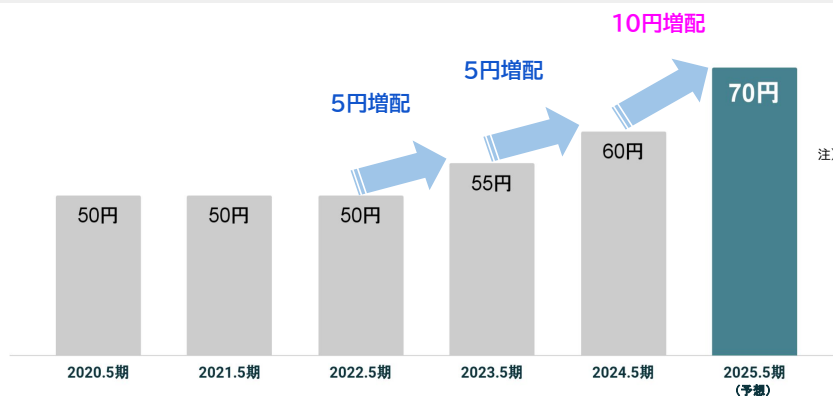
<https://jp.weathernews.com/news/51007/>

最新のトピックスを掲載していますので、詳細はリンク先をご確認していただければと思います。

4. 配当方針

3年連続増配予定

- 「高貢献、高収益、高分配」の考えのもと、中長期にビジネスを推進する戦略的事業投資を優先しつつ、長期安定配当として最適な自己資本水準及び投資環境、利益等を総合的に考慮して配当を決定
- 当期(2025.5期)は1株当たりの年間配当を**70円**(3年連続増配)とする予定



注) 株式分割後の金額を記載しております。
なお、株式分割は2024年12月1日を効力発生日としていますので、2024年11月30日を基準日とする第2四半期末配当金の支払いについては、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

最後に配当方針に関してです。ウェザーニューズは、高成長、高収益、高分配というポリシーによって運営しています。昨年株式分割をしていますので、それに合わせた表記になっていますが、三期連続で増配の計画をしています。



以上が、当第3四半期の決算発表となります。

APPENDIX

事業間シナジーの強化、及び事業横断的なSaaSビジネス拡大を推進するため、
既存のPlanning(事業部)を4つのDomain(事業領域)として再定義

※24年5月期決算(2024年7月)より決算資料に反映

Sea Domain



航海気象

Sky Domain



航空気象

Land Domain



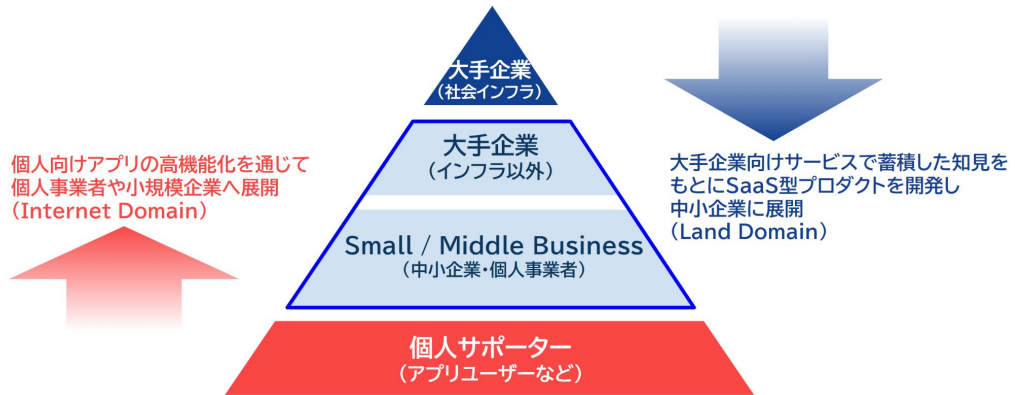
陸上気象
環境気象
気候テック
放送気象

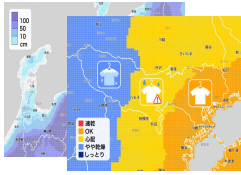
Internet Domain



モバイル・インターネット気象

【現中計期間】 新たなSaaSプロダクトを立ち上げ、新たな顧客層(中小企業)に展開
【中～長期】 既存サービスをSaaS型にシフトし、更なる利益体質化の実現を目指す





WxTech data

天気予報、過去の天気データはもちろん、地震や津波、火山などの災害リスクを伴ったデータ、また、桜の開花予測や花粉の飛散量、熱中症、紫外線、天気痛など、人の生活や健康に関連するデータなど、自然現象にまつわるあらゆるデータを提供。

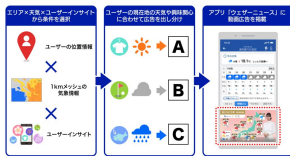
(価格:月額30,000円~)



ウェザーニュース for business

アプリ「ウェザーニュース」にお客様のビジネスに必要なお天気ページを追加。施設や店舗、営業所を地点登録することで、ビジネスの意思決定に関わるプッシュ通知をピンポイントで受け取ることができます。

(価格:月額29,400円~)



WxTech Ads

高解像度気象データとユーザーの現在地情報を掛け合わせ、気象状況に応じた広告をアプリ「ウェザーニュース」内で自動配信。定期的に気象情報を閲覧しにくるユーザーへタイムリーに働きかけ、商品への興味関心や購買意欲の向上を促進。

(価格:500,000円~)



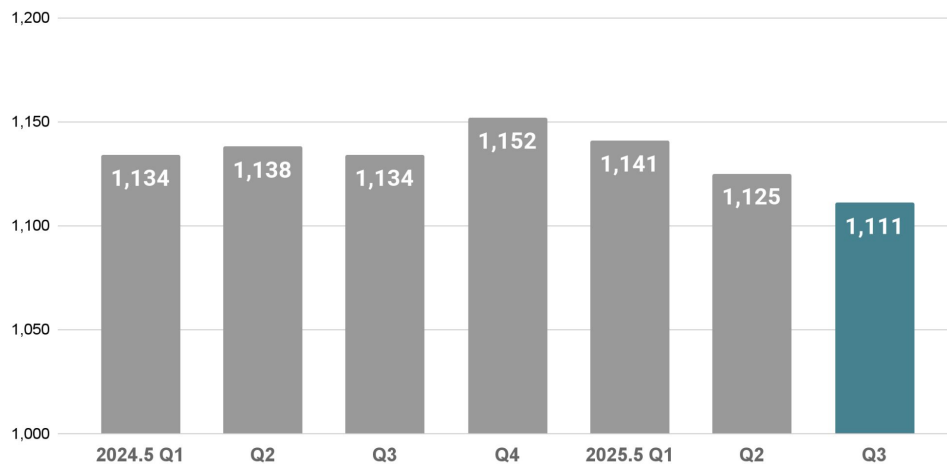
WxTech IoT (ソラテナPro)

小型、軽量、省電力のIoTセンサーで現場の気象を見える化。企業の安全対策や生産性向上、マーケティング施策や分析を強力にサポートします。



(価格:月額25,000円~)
※レンタルの場合

従業員数の推移(四半期)



Appendix - 連結貸借対照表

単位:百万円	2024.5期 Q3 実績	2024.5期 実績	2025.5期 Q3 実績
流動資産	17,332	19,392	20,088
固定資産	3,463	3,665	3,406
資産合計	20,786	23,058	23,494
流動負債	1,505	2,718	2,180
固定負債	249	551	656
負債合計	1,754	3,270	2,836
純資産合計	19,031	19,788	20,658
自己資本比率 (%)	91.1	85.4	87.8
1株あたり純資産 (円)	857.3	891.8	930.5

注)1株あたり純資産:株式分割後の金額を記載しております。
(効力発生日:2024年12月1日)

Appendix - 連結損益計算書 (2024年5月期Q3 vs 2025年5月期Q3)

単位:百万円	2024.5期 Q3 実績	2025.5期 Q3 実績	前年 同期比
売上高	5,507	5,819	+5.7%
営業利益	1,024	1,460	+42.5%
営業利益率 (%)	18.6	25.1	+6.5Pt
経常利益	1,053	1,472	+39.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	731	1,021	+39.6%
EPS (円)	33.1	46.1	+13.0円
為替 (USD/JPY) (円)	146.8	154.1	+7.3円

注)EPS:株式分割後の金額
を記載しております。
(効力発生日:2024年
12月1日)

Appendix - Domain別売上 (2024年5月期Q3 vs 2025年5月期Q3)

単位:百万円	2024.5期 Q3 実績	2025.5期 Q3 実績	前年同期比
Sea Domain	1,444	1,514	+4.8%
Sky Domain	307	328	+6.8%
Land Domain	1,645	1,771	+7.7%
Internet Domain	1,876	1,882	+0.3%
ストック売上 合計	5,274	5,497	+4.2%
フロー売上	233	321	+37.8%
総計	5,507	5,819	+5.7%

Appendix - Domain別売上 四半期推移

単位:百万円	2024.5期				2025.5期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
Sea Domain	1,411	1,451	1,444	1,504	1,550	1,590	1,514
Sky Domain	287	301	307	314	327	326	328
Land Domain	1,487	1,523	1,645	1,645	1,600	1,633	1,771
Internet Domain	2,212	2,020	1,876	1,972	2,222	2,058	1,882
ストック売上 合計	5,398	5,297	5,274	5,437	5,701	5,608	5,497
フロー売上	181	273	233	147	141	157	321
総計	5,580	5,570	5,507	5,584	5,843	5,766	5,819



当社は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、本資料を作成しておりますが、本資料の正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。

また、業績予想など将来に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々なリスクや不確定な要素などの要因により異なる場合があります。